

校長室通信

令和6年5月20日号
志免町立志免西小学校
高良 祐治

5月らしいさわやかな青空が広がる中、運動場や体育館では25日(土)に行われる運動会の練習が行われており、子どもたちの元気な声が響いています。日々の練習で、学級や学年の団結や本番に向けた期待感が高まっている一方で、疲れもたまっているのではないのでしょうか。しっかりと食事をとり、十分な睡眠を確保することで、元気に運動会を迎え、心身共に成長する機会としてほしいと思います。

できるときにできることを

先日、2年生が生活科の学習で校区見学を行いました。志免西小校区には、公園があったり、宇美川が流れていたり、住宅街や工業団地が広がっていたりするなど、場所によって様々な特徴があります。また、県道68号線や551号線など非常に交通量の多い道路があるかと思えば、狭い路地が入り組んだ地区でもあります。このため、校外学習を行う際には、まずは安全第一でとても気を遣います。

そこで今回、家の近くを子どもたちが通る際に、時間が許す範囲で見守っていただくボランティアをお願いしました。すると、「たまたま仕事が休みだったので」「ちょうど家の前を通ることになっていたのだから」とたくさんの保護者の皆さんが、あたたかく子どもたちの列を見守っていただきました。学校では、事前の下見を行い、できる限り安全には配慮していますが、少しでも見守っていただける方が増えれば、本当に助かります。



このように、「できるときにできること」を学校の子どものためにちょっとだけ行動してみることが集まる学校が、本校が取り組み始めて2年目となるコミュニティスクールの目指す姿だと思います。志免西小の子どもたちを学校、保護者、地域の人みんなで支え、育てていけるよう、今後も見守っていただきたいと思います。

運動会でも

前年度までの運動会では、観覧する保護者を学年ごとに総入れ替えする方法で実施していたと聞きました。そのために、PTAをはじめ多くの方に協力していただいたり、我が子の姿を少しでもいい場所で観覧するために早くから並んだりしていただいていたようです。

運動会は、「特別活動」の「健康安全・体育的行事」の一つとして行われ、体育的な集団活動を通して運動に親しんだり、連帯感を高めたりすることを目的として行われます。そこで今年は、1～6年生が団結しやすいように子どもたちの応援席をできるだけ集めました。その結果として、保護者の皆様に観覧していただける十分なスペースが確保できました。



親の立場からすると、「少しでも我が子が見えるように」と「場所取り」に必死になりがちですが(私も我が子が小学生だったときはそうでしたが…)、運動会は、子どもたちにとっての学習の場です。子どもたちが体力向上のために運動場で躍動している姿や、志免西小の一員として友達を応援している姿や集団としての規律ある行動が身につけている姿を、保護者の皆様同士で場所を譲り合いながら、あたたかく応援していただければと思います。

この「あたたかい応援」に包まれる風土づくりも、みんなで志免西小の子どもを育てるコミュニティスクールとしての在り方だと思います。